ごみの分別と出し方

区分	ごみの種類	注意事項	出し方
可燃ごみ	生ごみ、再生できない紙くず、プラスチック、CD、革製品、ゴム類、発泡スチロール等	生ごみは水分をよく切る。金具、汚物等は取り除く。家庭用ホース等は40cm以下に切り、指定袋に入れる。	必ず市指定袋に入れ、口を 縛り出す。大袋1枚に、お おむね10kg以内。
資源ごみ	ペットボトル(ただし、食用 油のボトルは可燃ごみへ) PET	キャップ・ラベル (プラスチック製は可燃 ごみ、金属製は不燃ごみ)をはずし、中を 軽く水洗いする。 左記のマークがないものは、可燃ゴミへ。	軽くつぶして、ごみステー ションに出す。
	空缶類 (アルミ、 スチール製の飲料 缶・缶詰・ミルク 缶・菓子缶等)	アルミとスチールの識別マークを確認し、分別のうえ、異物を取除き軽く水洗いする。 左記のマークがない缶は、その他の金属類へ。	ごみステーションに出す。
	びん類(飲料用・食品用びん等) ※割れたものは不燃ごみ	無色·茶色等、色別に分別。王冠·キャップ・コルク等の異物を取除き、中を軽く水洗いする。	ごみステーションに出す。
	古紙類(新聞・雑誌・ダンボール・紙パック) ※次のものは可燃ごみへ。ビニールコート紙、油紙、感熱紙、裏カーボン、防水加工紙	チラシは新聞に含む。ボール紙・菓子箱・ ティッシュ箱等は雑誌に含む。 紙パックは内側を水でよくすすぎ、切り開く。止め金・粘着テープ等の異物を取り除き、 袋に入れず種類別に十文字にひもで束ねる。	ごみステーションに出す。 ただし、雨天時や雨天予想 日は、出すのを控えてくだ さい。
	衣類(古着、繊維類)	線やスポンジの入ったものは、可燃ごみ、 または粗大ごみへ。	ごみステーションに、十文 字にひもで束ねて出す。
	白色食品トレー ※次のものは可燃ごみへ。発泡スチロール (家電製品の緩衝材、農水産物の容器)、食 品トレーでも着色・シール等添付のもの	付着物を洗い落とす。取れない場合は可燃 ごみへ。	ごみステーションに出す。
有害ごみ	乾電池(アルカリ、マンガン)、蛍光灯、電球、体温計、鏡、スプレー缶、100円 ライター、水銀または引火性物質を含む もの	ボタン電池や充電式電池は家電販売店等に 設置してある回収ボックスへ。ライター等 は中身を使い切り、スプレー缶等はさらに 穴を開ける。	ごみステーションに出す。
不燃ごみ	資源ごみ以外の空缶類・びん類・ガラスくず・陶器くず・炊事用品・針金ハンガー・ 最大長辺40m以内の小型家電品等	ガラスの破片や刃物を出す場合は、鋭利な 部分を包装し、油性ペンなどで中身を明示 する。	ごみステーションに出す。
粗大ごみ	家電品(以下は対象外。テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、エアコン、洗濯機、パソコン)、家具、建具、寝具、自転車、最大長辺40 cm以上の大型ごみ	可燃製品類に金具等が取り付けられている場合等、できるだけ可燃・不燃の分別をする。 ふとんは、たたんで、ひもで縛る。畳は1度の搬入量を3枚以内とする。これを超えるものは自己処理。	緑地区以外は、各地区リサイクルセンターへ持ち込む (無料)。午前9時から午後 4時まで。
市で回収しないもの	 ◆毒性ごみ・・・・・薬品、劇薬、塗料、農薬など ◆危険性ごみ・・・・ガソリン、灯油、消火器、ガスボンベなど ◆医療用器具・・・・注射器、注射針など ◆農機具・建築廃材・・石膏ボード、農業用ビニールシート、マルチなど ◆自動車部品・・・・・自動車・オートバイ部品、タイヤ、ホイール、オイルなど ◆土砂類・・・・・・砂、土、瓦、石、レンガ、灰など ◆その他・・・・・・リサイクル家電5品目、パソコンほか処理困難なごみ 		それぞれ販売店、病院、廃 棄物処理事業者へ相談して ください。

※地区により異なる場合があります。ごみカレンダーをご覧ください



▲南あわじ市清掃センターでは、年間約14,000トンの可燃ごみが 焼却処理されています

けでなく、資源化や適正な処違えると、収集ができないだは、地区で違っています。間また、ごみを出す日や場所 います。 粗大ごみの5種類で収集して ごみ、資源ごみ、有害ごみ、 出たごみは、可燃ごみ、不燃 南あわじ市では、家庭から (左表参照)

の出 の

み

ますので、お越しください。または出張所等に備付けていない方は、総合窓口センター配布していますが、お持ちで 再度確認してください。 理ができなくなります 示した「ごみカレンダー」を 地区ごとの出し方や日時を の で、

「5R生活」 をはじめよう

な問題「ごみ」について理解し、行動しましょう。 私たち一人ひとりの行動が地球環境を変えることにつながります。まずはな問題が関係者から報告されています。 地球温暖化が進んでいます。温暖化による異常気象や生態系の変化など、

まずは身近

深刻

⊕ Reduce 提唱しています。 詰め替え商品の利用等、 生活として「5R生活」 兵庫県では、 環境にやさ を ゴ

② Reuse (リユース) ミになるものを減らす 不用品の交換やフリ

ケットの活用で、 何度も繰り

③ Recycle 分別収 (リサイクル)

前のように行っています。 ら捨てるということを当たり

ちの税金を使って燃やされた

タイルを見直すことが求めら

一人ひとりのライフス

家庭ごみは、私た

加速します。

林伐採等により地球温暖化が

るために、

消費し、

し、いらなくなった、大量にものをつく

私たちはより快適に生活す

ごみは、

回りまわって私たち

からの輸入に頼っており、ものの原材料は、大半を海また、私たちが使ってい

大半を海外

森

の生活に悪影響を及ぼして

スタ

を見直そう

源回収を し、効率 に協力 Recycle

ご協力をお願いします。ど、ごみを減らす取り組みに

えるものは最後まで使うな

ても修理や部品交換で長く、電化製品や家具などが壊れ ⑤ Repair (リペア) のはできる限り買わない、 大切に使う このほかに、

包装等の不要な物は受け取ら 買い物かごの利用で、過剰 ④ Refuse(リフューズ) 図る

2 43-5024

間生活環境課

2007.8.1発行